

第2回谷村第一小学校・都留文科大学附属小学校統合準備委員会議事概要

日 時 令和7年10月3日（金）
午後6時30分から午後7時40分まで
場 所 教育プラザ都留3階大研修室

議事

1. スクールバスについては、スクールバス検討部会報告のとおり承認された。

（主な質問事項）

資料の中で、市役所駐車場でマイクロバスによる実地検証をしたということだが、実際の運行は、同様の車両となるのか。

（事務局）

運行を委託する事業者によるが、仮に富士急バスであれば、路線バスで使用している車両を使用することが想定され、場合によっては大型車両が使用される可能性はある。

2. 統合後の校名等については、次のような意見があり、再度調査した上で、次回の会議で再度審議することとした。

- ・これまでの説明会で示されていたのは「（仮称）都留市立都留文科大学附属谷村第一小学校」であったはずで、「都留市立」の前に「都留文科大学附属」を持ってくる意味が理解できない。→(事務局)「谷村第一小学校校歌」を継承する場合、著作権の問題がある。校歌のタイトルを「都留文科大学附属谷村第一小学校校歌」とすることは著作権を侵害することになると考えている。
- ・「都留市立の後」に「都留文科大学附属」が入らなければ学校名を呼ぶときに「谷村第一小学校」となってしまうことは、納得がいかない。
- ・「谷村第一小学校校歌」を継承することを前提に、著作権の問題で校名を決めるのは、本末転倒ではないか。

議事終了後に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について、基本的事項を確認し、4つのグループごとに「私の学校自慢～谷一小・附属小のいいところ」をテーマにプレ熟議を行った。

【プレ熟議で出された意見】

谷一小側委員	附属小側委員
校舎はお城の上にある	地域の方との活動がある（芋ほりなど）
児童が元気	山が近い
学区が広い	ムササビ、学校林、薪ストーブ
校舎が広い	運動会の出番が多くみんなが主役
市の中心地の学校	ウリボーが学校にいた
市内で一番大きい学校だった	子供の名前が言える
作家壇一雄が通っていた	下級生の面倒見がいい
俳優根津甚八の母校	下級生の時上級生によくしてもらった
子供たちが素直	全校生徒の名前がわかる
先生が熱い	職員みんなの名前がわかる
歴史がある（１５０周年）	多分いじめがない
あいさつがしっかりできる	保護者同士の連携が良い
先生が多い、若い	あいさつが良くできる
ウサギがいる	少人数教育
グラウンドが雨の後すぐ使える	希望する図書がすぐ読める
廊下が長い	主役になる機会が多い
日当たりがいい	発表の機会が多い
教室がたくさんある	英語特区、英検、漢検、数検
高学年がやさしい	シイタケをつくっている
大杉	自然がいっぱい、ゆたか
体育館がきれい	モリアオガエルがプールに来る
みんなでわいわい！元気	校歌がすばらしい、ステキ、おしゃれ
お寺がたくさんある	米がおいしい
資料館、メリーちゃん	水がおいしい
桂川が深い、きれいな水	子供たちは素直
校区にニコット、つるビーパーク	地域の方が協力的
校舎の近くに富士急行線	アットホーム
ミュージアム都留、商家資料館に近い	みんな仲がいい
城下町風の体育館	人間性がいい
お城山	上級生が下級生を自然体でみる
一応城下町	のびのびすくすく
校庭、校舎の下、家中川（寺川も）流れ	地域と子供とのつながりで昔遊び
	地域の見守りの深さ
	運動会２５名パワフル
	子供たち一人一人が意識強い
	健やかに育つ、歩く距離が長い

	縦のつながり横のつながり ほうとう煮会 畑、野菜 地域の人が見守ってくれる 1～6年までみんな仲良し 先生がすてき 素直なこどもたち ムササビがいる学校 自然が豊か あいさつができる 気遣いができる子ばかり 英語に親しんでいる 頑張る気持ちを持っている 6年生の面倒見がすごく良い
--	---